

事務事業評価シート

(H.30)No.	1272	(H.29)No.	1272
-----------	------	-----------	------

事務事業名	道徳教育総合支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森早苗	

会計区分	事業コード	468601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	道徳教育総合支援事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	道徳教育総合支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
「特別の教科 道徳」の時間の指導の要点や具体的な授業づくり、評価について研修し、市内すべての学校を対象に、各校の道徳の時間及び全ての教科領域での道徳教育を充実させ、児童生徒の豊かな心の育成を図ります。
事業内容
市内全ての小中学校において、道徳教育がより充実したものとなるよう、外部講師を招聘しての研修会を実施します。また、各校での実践を交流することで、質の高い授業実践をめざし、児童生徒の公共心や規範意識を高め、伝統や文化を重んじる豊かな心の生育を図ります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 道徳推進教師対象研修会(1回) 「特別の教科 道徳」の実施に向けての講演会(2回) 教育課程検討委員会による通知表の改訂 各学校研修図書、消耗品購入(19校)(計280千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳推進教師対象研修会 講師による、「特別の教科 道徳」の実施に向けての講演会 	<p>市内全ての小中学校において、道徳教育がより充実したものとなるよう、外部講師を招聘しての研修会を実施します。また、各校での実践を交流することで、質の高い授業実践をめざし、児童生徒の公共心や規範意識を高め、伝統や文化を重んじる豊かな心の生育を図ります。</p>
	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)	
	<ul style="list-style-type: none"> 講師による、「特別の教科 道徳」講演会 「特別の教科 道徳」における指導と評価の成果と課題の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 「特別の教科 道徳」における指導と評価の成果と課題の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 「特別の教科 道徳」における指導と評価の成果と課題の検証 	

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		280千円		280千円	140千円	140千円	140千円
内訳(千円)	国・県支出金	280		280			
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	0	0	0	140	140
人工数	職員	0.23人		0.17人	0.23人	0.23人	0.23人
	臨時職員等	0.02人		0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
②概算人件費	0千円	1,738千円	0千円	1,307千円	1,738千円	1,738千円	1,738千円
①+②総事業費	0千円	2,018千円	0千円	1,587千円	1,878千円	1,878千円	1,878千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
道徳教育が「特別の教科 道徳」として教科化されることになり、より質の高い授業内容が求められる中、「考え、議論する」道徳へと転換を図るとともに、学校、保護者、地域が一体となり道徳教育を進めていく必要があります。県の委託事業を受けて道徳教育の研修会を開催するなど、平成30年度からの本格実施に向けた体制整備を進めました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
道徳教育の指導と評価の一体化について、外部講師を招聘して指導・助言を受けることで、児童生徒の実態に応じた質の高い授業実践を目指します。また、各校での授業実践の交流を行い、子どもたちの公共心や規範意識、他人を思いやる心、よりよく生きようとする意欲と実践力等を育むための心情の育成に取り組みます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
第二次名張市子ども教育ビジョン ばりっすくすく計画(第3次)